

はなぞの

令和4年度
花園小学校だより
12月号
2022年11月30日

「誰か」のことじゃない。

教頭 入江 由美子

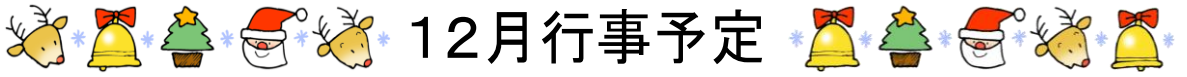
今年も残すところあとひと月となりました。11月は、気温があまり下がらない日々が続きましたが、樹木は冬が近づいていることを感じているのでしょうか、校内のサクラの木が、真っ赤に色づいていた葉を落とし始めました。いよいよ冬支度です。私たちも、寒さ対策や感染症対策を万全にして、健康に冬を過ごしたいと思いません。

12月といえば、師走、クリスマスなど、色々な風物詩が思い浮かびますが、今回のタイトルも、12月に行われることに関係しています。それは法務省が行っている「人権週間」です。昭和23年、国際連合で世界人権宣言が採択された12月10日は、「人権デー (Human Rights Day)」と定められていて、法務省が、その日を最終日とする一週間(12月4日から12月10日)を「人権週間」と定め、全国的に人権啓発活動を展開しています。そのキャッチフレーズが「『誰か』のことじゃない。」というものでした。それは、「他人事ではなく自分事として考えませんか」という呼びかけではないかと思います。他の人の話、他の所の話、だから自分とは関係ない話、と考えがちですが、人権について改めて考えるきっかけを与えてくれるようなフレーズです。

現在開催中の2022 FIFAワールドカップでは、サッカーというスポーツのもつ魅力が世界中に配信されているのと同時に、多様性と包括性を推進しようとするメッセージを発するチームや選手たちがいることも知られました。外国の方が、外国の地で、何かを伝えようとしている、このことも、「『誰か』のことじゃない。」ととらえて、一歩進んで考えるきっかけを与えてくれているのではないのでしょうか。

先日4年生が、私に手話を教えてくれました。「い」はこう、「り」はこう、「え」はこう、と一文字ずつ手の形を示してくれ、なかなか覚えられない私ができるようになるまで、休み時間中付き合ってくれました。彼らは、福祉学習を進める中で、社会福祉協議会の方に来ていただいた時にやり取りしたいと、あいさつや指文字などを自分たちで学習していました。実際に聴覚の障害がある方にお会いした時に、何とかコミュニケーションをとろうとする子ども達の姿は、純粹に人と関わりたいという思いだけかも知れませんが、他人事ではない、自分事としてとらえる、人権が尊重された素晴らしい姿だと思いました。

こうした子ども達の姿に出会うたびに、児童に物事を教えるのが教師の仕事ですが、実は、教師の方が子ども達に教えられていることの方が多いのではないかと感じます。もしかしたら子どもの眼で見えるものこそ、本質や大切なことなのかも知れません。ボランティア花園の松本さんが、先日アスパア明石で開かれた「アカシコミュニティパーティー」にご登壇された際、「押しつけないけど親切。それがパッチワークのように重なる街に」と語られたそうです。一人一人が他の誰かのことを思う、その思いがパッチワークのように集まれば、思いでつながった街ができる。街のことも、市のことも、県や国のこと、そして地球のことも、実は一人から始まるのだと思います。誰かのことじゃなく、自分のこととしてとらえることで、大人の我々も子ども達と一緒に人権感覚をさらに磨いていきませんか。


12月行事予定

日	曜	週	行事予定
1	木	A	ALT来校
2	金		
3	土		
4	日		
5	月	B	
6	火		心のふれあい日 ALT来校
7	水		代表委員会
8	木		ALT来校
9	金		
10	土		
11	日		
12	月	A	制服採寸(6年)(15:30~)
13	火		心のふれあい日 ALT来校
14	水		花園集会 SC来校
15	木		子ども安全の日 ALT来校
16	金		
17	土		
18	日		
19	月	B	
20	火		心のふれあい日
21	水		クラブ活動
22	木		給食終了日 大掃除
23	金		終業式(12:20下校)
24	土		
25	日		
26	月		冬季休業(~1月9日まで)



1月の主な予定 …10日(火) 始業式 12:20下校
 11日(水) 給食開始